

# 平成23年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社ウイズ  
 コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井 昭裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大関 浩一

TEL 03-3663-7677

四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年5月期第1四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第1四半期	455	△16.8	△96	—	△92	—	△93	—
22年5月期第1四半期	547	△27.7	△75	—	△68	—	△68	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第1四半期	△3,042.95	—
22年5月期第1四半期	△2,214.07	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第1四半期	2,424	1,590	65.6	51,612.29
22年5月期	2,599	1,689	65.0	54,825.53

(参考) 自己資本 23年5月期第1四半期 1,590百万円 22年5月期 1,689百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年5月期	—	—	—	—	—
23年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,545	2.0	25	2,611.2	24	26.7	20	△81.2	649.01
通期	3,545	23.6	110	494.9	105	159.9	100	20.1	3,245.07

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年5月期1Q	30,816株	22年5月期	30,816株
② 期末自己株式数	23年5月期1Q	一株	22年5月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年5月期1Q	30,816株	22年5月期1Q	30,816株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等、将来に関する記述は、現在、当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等についてはP.2「連結業績予想に関する定性的情報」等をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策等により大きく底割れはしないものの、雇用状況及び所得環境において大幅な改善は見られず、そのためデフレ基調は継続しており、低調なまま推移しました。

このような状況のもと、玩具業界は、一部のヒット商品等も存在し、前年対比で大きく底割れはしていないものの全体的に厳しい状況が継続しております。

当社グループは前連結会計年度において、事業の立て直しのため、固定費の削減及び基幹事業であるOEM製品事業に経営資源を集中し、通期の黒字化を達成するために「小さく投資し、大きく育てる」をスローガンとして事業を推進しました。当連結会計年度においては前連結会計年度の施策に加え、オリジナル商品事業及び海外販売事業の確立を目指しております。

売上面におきましては、前連結会計年度より発売しております「Tamagotchi iD（たまごっちアイディー）」シリーズ製品及び「ハートキャッチプリキュア！」シリーズ関連製品は堅調な販売が続いており、また、海外向け「貯犬箱」も売上に寄与いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、4億55百万円（前年同期比16.8%減）となりました。なお、当該売上高は、全ておもちゃ事業におけるものであります。

また、利益面においては、引き続き固定費抑制に努めておりますが、営業損失は96百万円（前年同期は75百万円の営業損失）、経常損失は92百万円（前年同期は68百万円の経常損失）、四半期純損失は93百万円（前年同期は68百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億75百万円減少し、24億24百万円となりました。これは、主に原材料及び貯蔵品の増加58百万円、仕掛品の増加32百万円があった反面、受取手形及び売掛金が2億65百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ76百万円減少し、8億33百万円となりました。これは、主に有利子負債の減少41百万円、支払手形及び買掛金の減少6百万円によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ99百万円減少し、15億90百万円となりました。これは、主に当第1四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少93百万円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ5百万円減少し、9億3百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は36百万円（前年同期は45百万円の支出）となりました。これは税金等調整前四半期純損失が92百万円、たな卸資産の増加額が63百万円、仕入債務の減少額が27百万円などの資金の減少要因はありましたが、売上債権の減少額が2億52百万円であったことなどの増加要因によるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は0百万円（前年同期は49百万円の支出）となりました。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は41百万円（前年同期は財務活動によるキャッシュ・フローはなし）となりました。これは短期借入金の純減少額が25百万円、長期借入金の返済による支出が16百万円あったことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね当初計画どおりに推移しており、平成22年7月8日に発表いたしました数値から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。

#### ② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用し、連結決算上必要な修正をおこなっております。

これによる経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度においては当期純利益を計上しておりますが、前々連結会計年度まで2期連続して当期純損失を計上するとともに、当第1四半期連結累計期間におきましても営業損失96百万円、経常損失92百万円、四半期純損失93百万円を計上しております。また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前連結会計年度まで3期連続してマイナスとなっている状況であります。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な事象等が存在しております。

しかしながら、前々連結会計年度の後半より取り組んでまいりました不採算事業からの撤退及び希望退職者の募集等のリストラクチャリングにつきましては、前連結会計年度の前半にはほぼ終了し、固定費の大幅な削減が実現し、前連結会計年度におきましては前掲のとおり黒字化を達成しております。その結果、当連結会計年度以降においても引き続きスリム化した組織体制で事業を継続することが可能となっており、営業活動によるキャッシュ・フローを確保すべく、より効率性を重視した経営をおこなってまいります。

以上により、当第1四半期連結累計期間における業績は概ね予定どおりに推移しており、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	954,375	960,115
受取手形及び売掛金	414,669	680,462
商品及び製品	41,789	70,237
仕掛品	78,407	45,846
原材料及び貯蔵品	99,953	41,053
その他	61,461	26,564
流動資産合計	1,650,656	1,824,279
固定資産		
有形固定資産	27,761	25,514
無形固定資産	4,588	4,944
投資その他の資産		
投資有価証券	585,011	588,517
その他	156,069	155,977
投資その他の資産合計	741,081	744,495
固定資産合計	773,431	774,954
資産合計	2,424,088	2,599,233
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,869	171,168
短期借入金	100,000	125,000
賞与引当金	17,850	—
その他	115,923	165,706
流動負債合計	398,643	461,874
固定負債		
長期借入金	83,450	100,100
退職給付引当金	52,381	52,228
長期未払金	265,526	265,526
その他	33,601	30,000
固定負債合計	434,960	447,855
負債合計	833,603	909,729
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	459,679	553,451
株主資本合計	1,602,349	1,696,121
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,266	△119
為替換算調整勘定	△8,598	△6,498
評価・換算差額等合計	△11,865	△6,617
純資産合計	1,590,484	1,689,503
負債純資産合計	2,424,088	2,599,233

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)
売上高	547,843	455,649
売上原価	350,334	293,603
売上総利益	197,508	162,046
販売費及び一般管理費	272,776	258,221
営業損失(△)	△75,268	△96,175
営業外収益		
受取利息	224	100
受取配当金	1,658	1,752
為替差益	4,525	3,817
その他	2,384	32
営業外収益合計	8,793	5,702
営業外費用		
支払利息	997	1,300
持分法による投資損失	723	358
その他	3	—
営業外費用合計	1,723	1,658
経常損失(△)	△68,198	△92,130
特別利益		
固定資産売却益	150	—
特別利益合計	150	—
特別損失		
固定資産除却損	776	—
特別損失合計	776	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△68,825	△92,130
法人税等	△596	1,640
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△93,771
四半期純損失(△)	△68,228	△93,771

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△68,825	△92,130
減価償却費	3,331	2,267
のれん償却額	2,000	—
組合等受入損益(△は益)・純額	5,896	△1,320
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,219	17,850
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,848	152
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△17,637	—
受取利息及び受取配当金	△1,883	△1,852
支払利息	997	1,300
為替差損益(△は益)	△1,321	△1,182
持分法による投資損益(△は益)	723	358
固定資産除売却損益(△は益)	626	—
売上債権の増減額(△は増加)	96,944	252,034
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29,925	△63,012
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,017	△27,789
その他	△49,454	△47,902
小計	△42,478	38,771
利息及び配当金の受取額	1,883	1,852
利息の支払額	△997	△1,300
法人税等の支払額	△4,145	△2,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	△45,738	36,792
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△80,732	—
関係会社株式の取得による支出	△2,000	—
出資金の分配による収入	27,267	1
その他	5,606	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,859	14
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△25,000
長期借入金の返済による支出	—	△16,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△41,650
現金及び現金同等物に係る換算差額	613	△883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△94,983	△5,726
現金及び現金同等物の期首残高	987,084	909,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	892,100	903,375



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

おもちゃ事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討をおこなう対象となっているものであります。

当社グループは、「おもちゃ事業」及び「アミューズメント事業」ごとに、経営戦略を立案・決定し、経営資源の配分及び業績の評価をおこなっております。

なお、「アミューズメント事業」のセグメントの売上高、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業セグメントの合計額の10%未満でありますので、報告セグメントは「おもちゃ事業」のみであります。

報告セグメントである「おもちゃ事業」では、おもちゃ、アニメーション、デジタルコンテンツの企画・開発・生産及び販売事業をおこなっております。

報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。